

令和3年度

社会福祉法人天童市社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人天童市社会福祉協議会

～ 共に支え合おう 安心して心豊かに暮らせる 福祉のまち天童 ～

<http://www.tendo-shakyo.or.jp>

目 次

1 総括	1
2 重点項目	2
3 事業概要	
(1) 地域福祉事業・ボランティア活動の推進	3
(2) 生活困窮者自立支援事業・各種相談援助事業の実施	12
(3) 共同募金活動	18
(4) 天童市地域包括支援センター中央の運営	19
(5) 介護サービス事業所の運営	26
(6) 天童市総合福祉センターの管理・経営	28
(7) 法人組織の管理・運営	31
4 別表1	
令和3年度天童市総合福祉センター利用状況	35

総 括

新型コロナ禍2年目となった令和3年度は、感染の波が繰り返し発生する中で、前年度に引き続き、マスクの着用や身体的距離の確保など、「新しい生活様式」を実践しながらの生活となりました。本会としても、感染予防のために、一部事業を休止するなどの対応を取らざるを得ない状況で経過しました。また、市では総合福祉センター等をワクチン集団接種会場に設定し、順次、市民にワクチン接種が行われました。

令和2年3月に策定した「第二次天童市地域福祉活動計画」については、「共に支え合おう 安心して心豊かに暮らせる 福祉のまち天童」の基本理念をもとに、実践活動に取り組みました。本年度は、感染状況に留意しつつ予防対策を徹底しながら、関係者や地域のみなさんの御理解と御協力のもと、事業を可能な限り実施しました。さらに、やむなく休止していた事業の一部再開に加えて、新規事業として、「地域の助けあい活動の担い手養成講座」を開設しました。

生活自立支援センターについては、各種生活相談に応じるとともに、コロナ禍の影響に伴って生活困窮から容易に抜け出せない方に対しては、資金の再貸付けなど継続的な支援を行いました。また、多機関協働支援センターについては、介護や障がい、育児、生活困窮など、複合的な問題を抱えた方に対して関係機関との調整を行い、相談者に合わせた適切な支援を行いました。さらに、成年後見センターについては、相談をはじめ、家庭裁判所への申立て支援や周知・啓発活動を実施しました。

介護保険事業所については、高齢者と障がい者の居宅及び訪問介護について、利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるとともに、特定事業所の指定を維持することで収益の確保を図るなど、健全経営に努めました。特に、コロナ感染対策等を徹底しながら、サービスの継続に努めました。

ボランティア活動については、自然災害に備えるため、センター運営のノウハウの蓄積に努めるとともに、個人、団体のボランティア登録を進め、相談への対応や情報の提供、市民に対する周知を行いました。さらに、新規事業として除雪ボランティアを募り、除雪が困難な高齢者世帯等に、ボランティアを派遣しました。

法人組織の管理・運営については、関係法令と定款等を遵守するとともに、定期的に評議員会と理事会を開催して、ガバナンスの強化と透明性の確保を図りました。また、社協だよりの発行やホームページ、ユーチューブなどを活用した広報活動を展開し、市民に対して理解の醸成と協力関係の構築に努めました。総合福祉センターの管理・運営についても、指定管理に関する包括協定を更新し、適正な管理と市民が利用しやすい環境づくりに努めました。

このように、本会は、地域福祉を推進する中核組織との自覚のもと、地域社会福祉協議会や行政、地域住民、福祉事業者等との連携を図りながら、安全安心な事業の積極展開と効率的な運営を行いました。

重点項目

1 「第二次天童市地域福祉活動計画」の実践

自助、互助、共助及び公助の取り組みによる地域生活課題の把握や地域共生社会の実現を理念に掲げ策定した「第二次天童市地域福祉活動計画」の実践活動に取り組みました。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方への生活資金の貸付けや相談対応、生活支援コーディネーター事業では、生活支援・介護予防体制整備推進協議体と連携を図り、住民ニーズと提供主体のコーディネーター業務等を実施しました。

2 地域包括ケアに係る地域づくりの推進

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、外出や介護サービスの利用を控える高齢者が多い中、相談対応やモニタリング、担当者会議開催時は、三密を避け、短時間での意志疎通、状態把握に努め、安否確認と廃用症候群予防を兼ねて、一人暮らし高齢者訪問事業を実施しました。

またコロナ禍においても、介護支援専門員等の研修機会を確保するため、ZOOMミーティングによるオンラインでの研修開催を行い、さらに認知症の方にやさしい地域づくりに寄与するため、学生や団体向けの認知症サポーター養成講座開催に努めました。

3 介護保険事業所の適正経営

居宅介護支援事業所及び訪問介護サービス事業所は、介護保険や障がい者支援等それぞれの制度に基づき、利用者が望む生活、自立した生活を支援するため、法令遵守及び公正公平な対応に配慮して適正運営に努めました。

新型コロナウイルス感染防止として利用者への声かけやチラシを配布し、注意喚起を行う事で支援側も意識を高めて訪問を行いました。運営会議については、1回のみで開催となったため、次年度は計画的な開催に努めます。

4 天童市総合福祉センターの管理・経営

機械室冷温水管保温修繕や誘導灯、照明器具等を修理するなど、良好な設備環境による適切な管理・経営に努めながら、利用者の要望に沿うとともに、経費節減に基づく効率的な運営を旨として、市総合福祉センターの管理運営を行いました。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「新しい生活様式」の徹底と環境衛生の整備に努めました。

5 法人組織の適正な管理と経営改善に向けた取り組み

経営組織のガバナンスとコンプライアンスの強化や事業運営の透明性の向上のため、理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会を開催し、法人組織の適正な管理、運営に努めました。また、経費の節減等を行いながら、経営改善に努めました。

さらに、ユーチューブチャンネルを開設し、法人事業の広報に努めました。

事業概要

1 地域福祉事業・ボランティア活動の推進

(1) 地域福祉ネットワーク活動

ア 地域社会福祉協議会の支援・充実

地域福祉活動の効率的、組織的な運営を通し、住民自身がたすけあい、ささえあいう「福祉コミュニティ」を実現することを目的とした地域社会福祉協議会の運営支援に努めました。

地域社会福祉協議会会議を2回開催し、情報交換や協議を行いながら、地域社会福祉協議会の行事等への参加、社会福祉協議会費や共同募金集金の協力、歳末たすけあい配分委員会への協力等、活動全般に協力しました。

- 1 地域社会福祉協議会会議期日等
 - (1) 8月2日 25名参加
 - (2) 1月31日 25名参加
- 2 地域社会福祉協議会の共通活動
 - (1) 市福祉推進員活動の支援
 - (2) いきいきサロン活動・地域カフェ推進事業・子育てサロン
 - (3) 共同募金・歳末たすけあい運動の協力
 - (4) 社会福祉協議会費・日本赤十字社会費集金協力
 - (5) 福祉活動の啓発・情報提供
 - (6) 福祉関係機関との連絡・調整

イ 天童市福祉推進員活動の充実

地域住民の立場から、自治会長や市民生委員・児童委員と連携して高齢者や障がい者等の見守り、声かけ、住民の地域福祉ネットワークづくりを行う市福祉推進員の活動を支援しました。

- 1 市福祉推進員委嘱状況 331名（昨年度329名）

天童南部48名、天童中部76名、天童北部38名、成生22名、蔵増18名、寺津14名、津山24名、田麦野2名、山口18名、高嶺22名、長岡29名、干布15名、荒谷5名
- 2 任期 令和2年4月1日から令和4年3月31日
- 3 新任者研修会 6月1日
 - ア 1回目 午後1時30分～ 24名参加
 - イ 2回目 午後7時～ 22名参加
- 4 市福祉推進員の共通活動
 - (1) 見守り、声かけ、話し相手に関すること
 - (2) 安否の確認、緊急時の連絡等に関すること
 - (3) たすけあい、ささえあいの機運づくり等に関すること
 - (4) 地域福祉事業等への参加・協力に関すること

(5) その他地域福祉の推進に関すること

ウ いきいきサロン事業の充実・普及

高齢者や障がい者等、自宅で閉じこもりがちな方々の社会参加、健康増進の場であるいきいきサロンの啓発を図り、自治会や市民生委員・児童委員、市福祉推進員等の支援を得て、62ヶ所の運営支援を行いました。さらに、一人暮らし高齢者の孤立・閉じこもり防止のための「一人暮らし高齢者激励会事業」への取組みを進めました。

市社会福祉協議会事務局では、各種講師の紹介や保険加入等の事務的支援、連絡会議と研修会開催等各サロンの運営支援に努め、市全域での実施を目標として未開設地域への啓発、情報提供等の支援を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、安否確認を含めた訪問活動の取組みを推奨しながら、感染対策についての研修会や広報誌を発行し情報提供に努めました。

- 1 いきいきサロン開設数 62ヶ所（昨年度62ヶ所）
 - (1) 町内会単位 57ヶ所（昨年度57ヶ所）※休止9ヶ所（昨年度12ヶ所）
三日町、南小畑、南町、上北目、田鶴町、五日町、久野本東2区（休止）、久野本東3.4区、久野本東7区、久野本東9区、久野本東10区（休止）、久野本東12.13区、久野本東16区、久野本会、糠塚、柏木、泉町、東本町（休止）、老野森、綿掛、小路、東交り江、本町（休止）、乱川、北久野本1丁目、北久野本2丁目、北久野本3丁目、北久野本4丁目、北久野本5丁目、天童原、大清水、大町、西交り江、今町（休止）、向原、成生、小関、高木、蔵増北部、矢野目、蔵増南、温泉、寄的、若松、道満（休止）、原崎、芳賀（休止）、金谷（休止）、高揃北（休止）、清池、楯之内、にれの木団地、高揃1.2、石倉、上萩野戸、原町、八千代台
 - (2) 市立公民館単位 5ヶ所（昨年度5ヶ所）
寺津、田麦野、長岡（2ヶ所）、荒谷
- 2 一人暮らし高齢者激励会実施いきいきサロン 48ヶ所（昨年度60ヶ所）
- 3 おためしサロン 0ヶ所（昨年度0ヶ所）
- 4 いきいきサロン活動への支援
 - (1) 各種講師紹介、保険加入、福祉バスの利用支援（年間随時）
 - (2) 開設・運営の打ち合せ、協議への参加協力、情報提供（年間随時）
- 5 歩（ふ）れあいだよりの発行
 - (1) 配布先
 - ア いきいきサロン 62ヶ所
 - イ 地域カフェ 11ヶ所
 - (2) 内容
 - ア Vol.3（6月発行）
熱中症予防、感染予防対策、福祉バス等の利用方法、フードドライブ他
 - イ Vol.4（9月発行）
合同研修会の報告、ガイドブック紹介、パラスポーツ（ボッチャ）紹介他

ウ Vol.5 (12月発行)

サロン紹介、アンケート集計結果、福祉バスを利用した観光地ベスト3
他

6 新型コロナウイルス感染予防のための対応

(1) いきいきサロン・地域カフェ推進事業合同研修会

ア 期日 8月6日

イ 参加者 45名参加

ウ 内容

(ア) 講義 通い場における新型コロナウイルス感染症対策、ワクチン接種
について(市保険給付課介護支援係)

(イ) 事例発表 コロナ禍における訪問活動の実践例について(老野森いき
いきサロン)

(ウ) 実技指導 通いの場で簡単に実践できる軽体操(市スポーツセンター)

(2) 活動自粛期間 令和3年3月下旬～4月25日

(3) 助成金

本会より自粛の要請を行ったことからサロン活動を1回以上開催した場合
(訪問活動含む)は、助成金の返金を不要としました。

エ 地域カフェ推進事業の実施

平成29年10月より、市の委託を受けて、介護保険総合事業の地域介護予防活
動支援事業の枠組みにより、各地域に高齢者を中心とする集いの場を設け、交流及
び介護予防の機会を提供する「地域カフェ推進事業」の運営支援に努めました。

地区(市立公民館区域)を拠点に、月1回以上の集いの場を開催、地区外の高齢
者の参加も可能とすることで、町内会での開催を中心とした「いきいきサロン」事
業との相乗効果を図りました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催自粛要請を行いながら、感
染対策についての研修会を開催しました。

1 地域カフェ推進事業開設数と主な内容 11ヶ所(昨年度11ヶ所)※休止

2ヶ所(昨年度3ヶ所)

(1) 天童南部「ふれあい南部茶屋」(講話・軽体操)

(2) 天童中部「くらつ川」(歌唱、軽体操)

(3) 天童北部「いるばある」(講話、軽体操)

(4) 蔵増「蔵」(DVD鑑賞、講話、健康体操)

(5) 寺津「うたごえ喫茶」(懐メロ鑑賞、茶話会)

(6) 田麦野「すみれ会」(スリッパ卓球、茶話会)

(7) 山口「お茶のみ処」(休止)

(8) 高掬「こっ茶来い」(休止)

(9) 老野森「たんときてける」(訪問活動、喫茶、軽体操)

(10) 糠塚「さくらカフェ」(喫茶、軽体操)

(11) 上貫津「龍神の里カフェ」(歌唱、軽体操)

2 地域カフェ推進事業への支援活動

- (1) 開設時準備作業への協力（打合せへの参加他）
- (2) 開設日時の市報掲載への協力
- (3) 保険加入支援・講師等の紹介
- 3 新型コロナウイルス感染予防のための対応
 - (1) いきいきサロン・地域カフェ推進事業合同研修会
 - ア 期日 8月6日
 - イ 参加者 8名参加
 - イ 内容
 - (ア) 講義 通い場における新型コロナウイルス感染症対策、ワクチン接種について（市保険給付課介護支援係）
 - (イ) 事例発表 コロナ禍における訪問活動の実践例について（老野森いきいきサロン）
 - (ウ) 実技指導 通いの場で簡単に実践できる軽体操（市スポーツセンター）
 - (2) 活動自粛期間 令和3年3月下旬～4月25日

オ 生活支援コーディネーターの配置

天童市生活支援・介護予防体制整備推進協議体を開催しながら、住民ニーズと提供主体のマッチングや連携及び調整を行いました。また、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように地域の助け合い活動を推進する担い手を養成するための講座を企画し、支え合いの基盤づくりを行いました。

なお、自立支援型地域ケア会議に参加し、個別事例の検討において行う課題分析等を通じて、地域に共通するニーズ等の情報収集や社会資源の情報提供に努めました。

- 1 生活支援・介護予防体制整備推進協議体
 - (1) 期日
 - ア 7月27日
 - イ 3月9日
 - (2) 委員数 9名
- 2 自立支援型地域ケア会議への参加 17回（昨年度11回）
- 3 天童市住民助け合い活動養成講座（全3回）（新規）
 - (1) 第1回「わが町天童市の現状について学ぼう！」
 - ア 期日 11月12日
 - イ 参加者 27名
 - ウ 内容
 - (ア) 行政説明（市保険給付課介護支援係）
 - (イ) 講演「天童市内の社会資源について」（NPO法人ふれあい天童 理事長 加藤由紀子氏）
 - (2) 第2回「全国の助け合い活動はどうなっているの？」
 - ア 期日 12月10日
 - イ 参加者 25名
 - ウ 内容 講演「地域の生活を支える助け合い活動について」（医療経済研

究機構主席研究員 服部真治氏)

(3) 第3回「居場所の話聞いてみよう！見てみよう！」

ア 期日 1月21日

イ 参加者 24名

ウ 内容

(ア) 活動実践者講話 (NPO 法人ほっとあい 副理事長 渡辺典子氏)

(イ) 視察 (NPO 法人ふれあい天童)

カ 社会福祉法人連絡会活動

新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインにおいて社会福祉法人連絡会会議を開催し、社会福祉法人相互の情報交換を行いました。また、地域福祉の推進に係る地域住民等との連携及び地域における福祉人材の育成等を目的として、職員を講師として派遣する天童の歩(ふ)くし出前講座の開催準備に努めました。

1 幹事会

(1) 期日 8月5日

(2) 参加法人 3社会福祉法人

ア 小百合保育園

イ 天童福祉厚生会

ウ 天童まいづる会

2 オンライン会議

(1) 期日 10月4日

(2) 内容

ア 役員の選任について

イ 講演 災害時の避難について (市危機管理室)

(3) 情報交換内容

ア 賠償責任保険の加入条件について

イ 受講したい研修会等の内容やテーマ

ウ 令和3年度事業計画について

3 天童の歩(ふ)くし出前講座(新規)

(1) 登録法人 8社会福祉法人

山形県玉葉会、小百合保育園、天童福祉厚生会、天童まいづる会、つるかめ、にこにこ子どもの家、虹の会、市社会福祉協議会

(2) 登録講座数 23講座

認知症を学ぼう、知って得する介護保険サービス、精神障がいを理解しよう、親子で遊ぼう、市総合福祉センターのバリアフリーを知ろう他

4 参加法人 市内に所在地を置く14社会福祉法人

山形県玉葉会、小百合保育園、天童福祉厚生会、天童まいづる会、睦会、羽陽の里、みらい、つばさ会、つるかめ、星和学園、にこにこ子どもの家、虹の会、つくし保育園、市社会福祉協議会

キ 子育て支援事業の実施

市母子寡婦福祉連合会や地域社会福祉協議会の子育てサロンと協力しながら、親

子の集いや子どもたちの遊びの場づくり、親同士のコミュニケーションの場づくりに努めました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、市母子寡婦福祉連合会との共催事業であるままカフェ交流会及び県退職公務員連盟東村山支部との共催事業の学習支援教室を中止としました。

1 市母子寡婦福祉連合会共催事業

(1) 子ども食堂 1回（昨年度2回）

ア 期日 12月13日（親と子のクリスマスパーティー）

イ 目的 子どもたちへの食事、居場所の提供

ウ 内容 マジックショーやプレゼント、ケーキの配布

エ 参加者 61名

(ア) 子ども 28名

(イ) 親 19名

(ウ) スタッフ 11名

(エ) 協力者 3名

※10月24日に芋煮会を計画していたが新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、フードパントリーへ切り替えて実施。

(2) フードパントリー 6回（昨年度4回）

ア 期日 7月31日・8月22日・10月24日・12月26日
2月27日・3月27日

イ 内容 食品や弁当の配布

2 子育て支援活動への助成

(1) 長岡地域社会福祉協議会「子育てサロンりんごっこ」

ア 開催日 毎月第2・第4木曜日

イ 開催回数 22回（昨年度12回）

ウ 内容 読み聞かせや季節行事、お誕生日会等

(2) 高橋地域社会福祉協議会「おひさま」

ア 開催日 毎月第3水曜日

イ 開催回数 6回（昨年度12回）

ウ 内容 読み聞かせや季節行事、親子ふれあい遊び等

(2) 社会福祉啓発と福祉人材の育成

ア 社会福祉協議会だより発行やホームページの活用

本会の趣旨を伝え、地域福祉活動を啓発するため、地域の問題を取り入れながら、より分かりやすく、充実した誌面づくりに努めました。また、ホームページにユーチューブ（動画）をアップし、音声等の多くの情報を伝えながら印象に残る情報発信に努めました。

1 社会福祉協議会だより（年4回発行）

(1) 配布先

ア 市内全世帯 約22,700世帯

イ 福祉関係施設等 県内約100施設

(2) 内容

ア Vol.181 (6月15日発行)

ボランティア団体紹介、事業報告・収支決算、災害ボランティアセンター、市福祉推進員紹介、市多機関協働支援センター紹介他

イ Vol.182 (10月1日発行)

山口小パラスポーツ体験、共同募金お願い、フードパントリー、介護サービス事業所紹介、市成年後見センター紹介他

ウ Vol.183 (1月15日発行)

田鶴町いきいきサロン、新年会長挨拶、福祉功労者表彰紹介、食の支援特集、生活福祉資金案内、市地域包括支援センター案内他

エ Vol.184 (3月15日発行)

天童北部小除雪ボランティア、共同募金実績報告、市生活自立支援センター案内、福祉サービス利用援助事業案内、天童の歩(ふ)くし出前講他

2 社会福祉協議会会費集金用チラシ (7月発行)

(1) 配布先 市内全世帯 約22,700世帯

(2) 内容 事業内容及び予算状況

イ いきいき・ふれあい健康福祉まつり2021の企画・開催

新型コロナウイルス感染症の影響により、市との検討(6月10日)を行い、いきいき・ふれあい健康福祉まつり2021を中止としました。

ウ 社会福祉功労者表彰の実施

社会福祉の分野で顕著な貢献をされた個人・団体へ感謝を表し、その功績をたたえるため、審査会での検討を行いました。いきいき・ふれあい健康福祉まつりの中止に伴い、表彰式のみ開催し、YouTube動画配信を行いました。

1 市社会福祉功労者表彰審査会

(1) 期日 8月30日

(2) 委員数 7名

2 天童市社会福祉功労者表彰式

(1) 期日 10月19日

(2) 個人 16名(昨年度12名)

須藤幸子様 飯田幸子様 三沢清吾様 附田治雄様 遠藤みつ子様

名佐原雅治様 遠藤賢治様 古澤貞信様 花輪叶様 山西洋子様

奥山強志様 国井一弘様 太田裕子様 黄木孝一様 小峰茂様

堀井宏治様

(3) 団体 2組(昨年度0)

天童市更生保護女性会寺津地区様 さくらんぼ落語愛好会様

エ ふれあいまちづくり講座開設

いきいきサロン等の福祉活動や小中学校での福祉教育を充実させるため、専門資格や特技を持っている講師の登録及び派遣を行いました。また、広報誌に掲載し講

座の周知や講師の人材発掘に努めました。

- 1 登録講師 個人・団体 38講師（昨年度34講師）
- 2 講座内容 健康講話、音楽療法、手話指導、軽体操、昔語り、マジック、大道芸、楽器演奏、落語、押し花、知的・発達障がい疑似体験、ガマの油売り口上
- 3 派遣実績
 - (1) 件数 48件（昨年度18件）
 - (2) 派遣場所 いきいきサロン、地域カフェ推進事業、地域社会福祉協議会、福祉施設、小学校、市老人クラブ連合会、市立公民館等

オ 福祉のこころ実践校事業の実施

児童生徒の社会福祉・ボランティア活動への関心を高めるため、市内の小中学校を「福祉のこころ実践校事業」協力校に指定し、各学校との連携・協力のもと、地域ぐるみの福祉教育活動を展開しました。

- 1 福祉のこころ実践校活動 10校（昨年度9校）
 - (1) 学校名 天童南部小・天童中部小・天童北部小・成生小・蔵増小・寺津小津山小・山口小・高掬小・荒谷小
 - (2) 補助金合計額 310,000円（昨年度280,000円）
 - (3) 内容 共同募金活動や地域でのボランティア活動、高齢者施設等への手作りプレゼントの寄贈、福祉体験学習、パラリンピックスポーツ体験等
- 2 福祉体験学習
 - (1) ボッチャ体験 山口小 7月20日 39名（2・6年生）
 - (2) 地域交流事業（干し柿づくり）寺津小 11月5日 69名（全校児童）
 - (3) 手話学習 蔵増小 11月18・25日 29名（4年生）
 - (4) 車いす体験 荒谷小 12月7日 12名（4年生）
 - (5) 高齢者宅除雪ボランティア 荒谷小 1月21日 29名（5・6年生）
 - (6) 高齢者宅除雪ボランティア 天童北部小 1月27日・2月8日・2月15日 65名（6年生）
 - (7) ボッチャ体験 高掬小 1月31日 85名（5・6年生）
 - (8) 福祉施設へ手作りマスクチェーン寄贈 天童南部小 3月15日 4名（6年生）
 - (9) 福祉施設等への花笠踊りDVD寄贈 天童中部小 2月 667名（全校児童）

カ 介護職員初任者研修受講助成事業

社会福祉協議会だより、ホームページにて広報に努めましたが、申請希望者がありませんでした。

キ 実習生の受入れ

新型コロナウイルス感染症の影響により、東北福祉大学の社会福祉援助技術実習が中止となりました。

(3) ボランティア活動の育成

ア ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談対応や既存のボランティア団体への支援、情報提供を継続するとともに、社会福祉協議会だよりへのボランティア関連記事掲載により、幅広い市民層に対してボランティア活動の啓発を行いました。また、高齢者等の雪処理の担い手が不足している世帯へボランティアの派遣を行い、地域のたすけあい活動を推進しました。

- | | |
|-----|---|
| 1 | ボランティア登録 |
| (1) | 個人 12名 (昨年度13名) |
| (2) | 団体 52団体 (昨年度52団体) |
| 2 | ボランティア相談対応 |
| (1) | 周知及び活動依頼 (ボランティアの紹介・参加協力依頼) 0件 (昨年度2件) |
| (2) | 活動希望 (活動先の紹介) 8件 (昨年度4件) |
| (3) | ボランティア団体への支援 |
| (4) | ボランティア団体活動費助成事業の実施 5件 (昨年度4件) |
| (5) | ボランティア室の設置、ロッカー貸出 |
| 3 | 天童建設総合組合による家屋補修事業 |
| (1) | 期日 11月7日 |
| (2) | 件数 2件 (昨年度中止) |
| 4 | 除雪ボランティア (新規) |
| (1) | 1月22日 |
| ア | 参加者 モンテディオ山形ジュニアユース (21名)・個人ボランティア (3名) |
| イ | 対象者 田麦野地域の高齢者宅 (3世帯) |
| (2) | 2月5日 (中止) |
| ア | 参加予定者 天童高校生 |
| イ | 対象者 田麦野地域の高齢者宅 |
| (3) | 2月23日 |
| ア | 参加者 モンテディオ山形ユース及びコーチ (30名) |
| イ | 対象者等 長岡地域の高齢者宅及び通学路 |

イ 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、市防災訓練が中止となったため、災害ボランティアセンター設置運営訓練も中止としました。また、今年度は県内で災害ボランティアセンターの設置がなく、職員派遣もありませんでした。

2 生活困窮者自立相談支援事業・各種相談援助事業の実施

(1) 天童市生活自立支援センターの運営

「生活困窮者自立支援法」に定められた必須事業である自立相談支援事業の委託を受けて、住居確保給付金及び諸福祉制度等を活用し、生活困窮者の相談支援にあたりました。新型コロナウイルス感染症の影響により、減収や離職したことで一時的に資金が必要となった方に対する生活福祉資金の特例貸付や住居確保給付金の支給、その後も生活に困窮される世帯に対して、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給を活用するなど、一人ひとりの状況に合わせた相談支援を実施しました。

生活困窮者支援を通じた地域づくりを目標に、生活困窮者支援の早期把握や見守りのための地域ネットワークを構築するため、各関係機関を参集した運営会議や、周知活動を行いました。

1 自立相談支援事業

(1) 新規相談件数（実件数） 284件（昨年度508件）

(2) 自立支援プラン作成数 9件（昨年度15件）

(3) 支援実績（延件数）

ア 電話相談・連絡 968件（昨年度1,408件）

イ 他機関との連絡調整 566件（昨年度579件）

ウ 面談 1,091件（昨年度1,208件）

エ 訪問及び同行支援 130件（昨年度135件）

(4) 支援調整会議

ア 回数 9回（昨年度7回）

イ 期日 5月31日・6月30日・8月4日・9月3日・10月7日
11月5日・12月3日・1月5日・3月4日

(5) 運営会議

ア 期日 2月18日（新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うまん延防止重点措置期間のため書面開催に変更）

イ 参集者 13名

山形公共職業安定所・日本司法支援センター山形地方事務所・やまがた若者サポートステーション・医療法人社団斗南会秋野病院・市学童保育連絡協議会・社会福祉法人天童まいづる会相談支援事業所きらり・市地域包括支援センター中央・市地域包括支援センターめいこうえん・市納税課納税係・市保険給付課介護支援係・市健康課市民健康係・市子育て支援課家庭支援係・市社会福祉課障がい支援係

2 住居確保給付金

(1) 相談件数（実人数） 46件（昨年度148件）

(2) 申請件数 9件（昨年度36件）

(3) 決定件数 9件（昨年度36件）

3 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金（新制度）

(1) 相談件数 104件

(2) 申請件数 14件

(3) 決定件数 14件

4 周知活動

福祉推進員新任者研修（6月1日）、歳末たすけあい配分委員会（市内13地域12月7日～10日）、地域社会福祉協議会会議（1月31日）、社協だより（3月15日号）

(2) 天童市多機関協働支援センターの運営

市から委託を受けて、令和3年度から、重層的支援体制整備事業の実施に向けた移行準備事業を実施しました。介護や障がい、育児、生活困窮、新型コロナウイルス感染症による生活への影響等の複合的な問題を抱える世帯やどこに相談したらよいか分からないといった制度の狭間の問題を抱える世帯の相談を受け、関係機関のコーディネートを行い、複雑化した課題の解決に努めました。

また、市内関係機関等への周知活動を通し、相談支援のネットワーク構築に努めました。

1 新規相談件数（実件数） 63件（昨年度94件）

2 支援実績（延件数）

(1) 電話相談・連絡 325件（昨年度435件）

(2) 訪問及び同行支援 101件（昨年度112件）

(3) 面談 251件（昨年度328件）

(4) 他機関との連絡・調整 333件（昨年度386件）

(5) ケース会議（支援調整会議含む） 15件（昨年度14件）

3 運営会議（相談支援包括化推進会議）

(1) 期日 2月18日（新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うまん延防止重点措置期間のため書面開催に変更）

(2) 参集者 13名

山形公共職業安定所・日本司法支援センター山形地方事務所・やまがた若者サポートステーション・医療法人社団斗南会秋野病院・市学童保育連絡協議会・社会福祉法人天童まいづる会相談支援事業所きらり・市地域包括支援センター中央・市地域包括支援センターめいこうえん・市納税課納税係・市保険給付課介護支援係・市健康課市民健康係・市子育て支援課家庭支援係・市社会福祉課障がい支援係

4 周知活動

福祉推進員新任者研修（6月1日）、歳末たすけあい配分委員会（市内13地域12月7日～10日）、地域社会福祉協議会会議（1月31日）、第五地区民生委員・児童委員協議会合同研修会（2月13日）、社協だより（6月15日号）

(3) その他の相談援助事業の実施

ア 福祉サービス利用援助事業の実施

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が十分でない方、日常

生活に不安のある方が、安心して自立した生活を送れるよう、他機関や他制度と調整しながら、金銭管理や通帳の預かり等の援助、相談事業を行いました。

- 1 利用者 25名（昨年度24名）
 - (1) 高齢者 13名（昨年度12名）
 - (2) 知的障がい者 5名（昨年度5名）
 - (3) 精神障がい者 7名（昨年度7名）
- 2 サービス支援回数 357回（昨年度338回）
※ 生活支援員5名・専門員3名で対応
- 3 相談及び連絡調整回数 延1,085回（昨年度922回）
※ 専門員3名で対応
- 4 新規相談件数（延件数） 23件（昨年度28件）
- 5 新規契約件数 6件（昨年度7件）
- 6 支援内容 通帳等預かりや生活費の払出、金銭等に関わる相談支援、福祉サービス利用料等の支払い、口座振替等の手続

イ 法人後見業務・成年後見センター事業の実施

認知症や知的障がい、精神障がい等の理由で判断能力の不十分な方に対して、本会が法人として成年後見人等に就任し、財産管理や身上保護を通して支援を行いました。なお、法律関係者や医療関係者、福祉関係者、行政関係者、学識経験者で構成した運営委員会を開催し法人後見事業の適正な運営を図りました。

また、市から成年後見センター事業の委託を受けて、成年後見制度の利用相談や必要に応じて本人及び親族の家庭裁判所に対する申立て手続の支援の他、周知活動を実施し、制度の利用促進に努めました。

- 1 法人後見事業
 - (1) 新規受任件数 3件（昨年度1件）
 - (2) 終了件数 3件（昨年度1件）
 - (3) 受任合計数 4件（昨年度4件）
 - (4) 運営委員会
 - ア 期日 12月6日
 - イ 委員数 5名
- 2 成年後見センター事業
 - (1) 成年後見制度に関する相談支援（実件数） 35件（昨年度24件）
 - ア 制度全般に関する相談 7件（昨年度6件）
 - イ 制度利用及び申立てに関する相談 18件（昨年度12件）
 - ウ 法人後見受任に関する相談 0件（昨年度1件）
 - エ ケース方針調整会議の相談 10件（昨年度5件）
 - (2) ケース方針調整会議
 - ア 会議開催回数 6回（昨年度5回）
 - イ 調整ケース件数 10件（昨年度5件）
 - ウ 受任団体
 - (ア) 山形県弁護士会 0件（昨年度1件）

- (イ) 成年後見センターリーガルサポート山形支部（山形県司法書士会）
1件（昨年度1件）
- (ウ) 成年後見センターぱあとなあ山形（山形県社会福祉士会） 6件（昨
年度2件）
- (エ) 本会法人後見 3件（昨年度1件）
- (3) 周知活動
福祉推進員新任者研修（6月1日）、歳末たすけあい配分委員会（市内
13地域12月7日～10日）、地域社会福祉協議会会議（1月31日）、第
五地区民生委員・児童委員協議会合同研修会（2月13日）、社協だより
（10月1日号）

ウ 生活福祉資金・たすけあい資金の貸付及び償還指導

主に低所得世帯の支援策として、安定した生活の実現を目的に民生委員・児童委員及び行政と連携しながら、生活費や修学費用等の貸付を行いました。さらに、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響で減収、離職した方を対象とした生活福祉資金特例貸付を実施し、生活維持の支援に努めました。

また、借受人の順調な償還を図るため、文書や電話での連絡に加え、面接相談会の開催等により生活状況把握及び償還指導を強化しました。

- 1 生活福祉資金
 - (1) 貸付状況
 - ア 相談件数（延件数） 165件（昨年度221件）
 - イ 貸付件数 20件（昨年度23件）
 - (2) 償還状況
 - ア 償還完了 5件（昨年度12件）
 - イ 償還免除 1件（昨年度4件）
 - ウ 貸付件数 178件（昨年度165件）
 - (ア) 償還開始前 45件（昨年度42件）
 - (イ) 順調償還（直近で滞納回数0～2回） 58件（昨年度55件）
 - (ウ) 滞納 75件（昨年度68件）
 - (3) 償還指導
 - ア 対象 53件（昨年度45件）
 - イ 償還面接相談会
 - (ア) 期日 12月15日
 - (イ) 件数 4件（昨年度2件）
 - ウ 面接日変更 0件（昨年度1件）
 - エ 訪問 新型コロナウイルス感染予防のため中止（昨年度25件）
 - オ 電話 6件（昨年度0件）
- 2 生活福祉資金特例貸付（新型コロナウイルス特例）
 - (1) 貸付状況
 - ア 相談件数（延件数） 352件（昨年度1,191件）
 - イ 貸付件数 202件（昨年度296件）

- (ア) 緊急小口資金特例貸付 82件 (昨年度199件)
- (イ) 総合支援資金特例貸付 65件 (昨年度97件)
- (ウ) 総合支援資金特例貸付 (再貸付) 55件 (昨年度15件)

3 たすけあい資金貸付状況

- (1) 貸付件数 7件 (昨年度22件)
- (2) 償還完了 10件 (昨年度19件)
- (3) 償還中 17件 (昨年度20件)

エ ささえあい相談所(法律相談)

市民の法律に関する日常生活上の困りごとや心配ごとの解決に向け、身近で気軽な相談の場を提供するため、山形県弁護士会より会員を派遣いただき、弁護士による無料法律相談会を開催し法律トラブルへの初期対応を図りました。

1 無料法律相談会

- (1) 開催日 毎月第2水曜日
- (2) 開催時間 午後1時30分から午後4時 ※1人30分
- (3) 相談件数 46件 (昨年度38件)

2 相談内容 債務や金銭の貸借、離婚、相続、調停等

オ フードバンク・フードドライブ事業の実施

個人及び団体より供与いただいた食品等を生活困窮者等の必要と認められる世帯や福祉活動を行う団体等に提供を行うフードバンク、フードドライブ事業を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、保健所から自宅療養等を指示されたため、食品確保が困難となっている世帯に対し、協力いただいた食品等を提供いたしました。

1 供与件数

(1) フードドライブ

- ア 個人 126件 (昨年度7件)
- イ 団体 26件 (昨年度3件)

天童生協・天童北部地域民生児童委員・おーばんホールディングス・羽陽の里・ヨークベニマル・県社協・JA てんどう女性部・日本たばこ産業(株)山形支店・田鶴町いきいきサロン・山形県青年の家管理企業体・天童舞鶴ライオンズクラブ・天童中央ライオンズクラブ・フードバンク山形

(2) 福わたし 2件 (昨年度6件)

2 提供先

- (1) 生活困窮者 225件 (昨年度146件)
- (2) 地域包括支援センター 0件 (昨年度2件)
- (3) 子ども食堂 13件 (昨年度1件)
- (4) 学習支援教室及び母子寡婦福祉連合会 2件 (昨年度2件)
- (5) 通いの場 24件 (昨年度0件)
- (6) 福わたし 12件 (昨年度4件)
- (7) 新型コロナウイルス感染症自宅療養者等への食料品等の支援件数 4件

カ 避難者生活相談支援事業の実施

東日本大震災の影響により、県内に避難されている避難者の方々の安定した日常を確保するとともに、円滑な帰還や定住、生活再建を支援するため「避難者生活支援」事業に取り組みました。

県社会福祉協議会の委託を受け、2名の相談員が避難者の方々の地域での孤立防止及び社会参加の機会、仲間づくりを目的に、「訪問活動」「つどいの場づくり」を展開しました。また、新型コロナウイルス感染拡大時は、広報誌を発行し情報提供等に努め、帰還や定住、生活再建等に向けた情報収集、情報提供及び各種関係機関との連携を図り生活再建を支援しました。

1 訪問活動実績

- (1) 訪問回数 99回（昨年度161回）
- (2) 面接回数 47回（昨年度57回）
- (3) 訪問対象世帯 18世帯（昨年度21世帯）

2 避難者の集い（ちえっと寄れ茶）

- (1) 開催実績 8回 延30人（昨年度5回 延20人）

- ア 4月22日 4名
- イ 5月20日 3名
- ウ 6月17日 4名
- エ 7月15日 4名
- オ 9月16日 4名
- カ 10月26日 5名
- キ 1月13日 4名
- ク 3月15日 2名

- (2) 内容 お茶会を楽しみ、情報交換等を行う。

3 共同作業や旅行を通じた仲間づくり

- (1) 開催実績 3回 延15名（昨年度3回 延16名）

- ア 11月8日 5名
- イ 12月6日 5名
- ウ 2月10日 5名

- (2) 内容 運動公園散策、クリスマスケーキ作り、市危機管理室より、応急手当の講話

4 関係機関との連携・協力

- (1) 山形県復興・避難者支援室（随時）
- (2) 市危機管理室（月1～2回）
- (3) 市生活自立支援センター（随時）
- (4) 市地域包括支援センター（随時）
- (5) ボランティア団体（随時）

3 共同募金活動

(1) 一般募金・歳末たすけあい募金への協力

社会福祉法人山形県共同募金会天童市共同募金委員会として積極的な共同募金運動を展開し、一般世帯や法人、学校、職域などの多くの方々からの理解と御協力を得ることができました。また、市内在住タレントのミッチーチェンさんとコラボグッズを作成し、ホームページや SNS 等で幅広い世代に広報し、積極的に募金活動に努めました。

1	一般募金	
(1)	募金額	9,027,549円(昨年度9,146,948円) 赤い羽根社会貢献及び災害対応自動販売機募金47,860円 を含む(昨年度22,176円)
(2)	募金件数	18,794件(昨年度19,162件)
2	歳末たすけあい運動	
(1)	募金額	5,222,020円(昨年度5,240,007円)
(2)	募金件数	16,622件(昨年度16,716件)
(3)	歳末たすけあい色紙頒布会	
ア	共催	宝樹社
イ	会場・期日	
(ア)	市総合福祉センターホール	12月1日から7日
(イ)	市美術館ロビー	12月8日から14日午前
(ウ)	市役所1階市民ロビー	12月14日午後から21日
ウ	作品数	22点(昨年度22点)
(ア)	色紙	18点
(イ)	ハガキ	4点
(ウ)	募金額(歳末たすけあい運動募金額に含む)	102,020円 (昨年度91,857円)
3	義援金	静岡県大雨災害 2件 3,490円 (昨年度35,437円 3件)

(2) 歳末たすけあい募金の適正配分

歳末たすけあい募金の戸別募金については、歳末たすけあい配分委員会担当者会議において、要支援世帯や地域福祉事業等への適正な配分のあり方等を検討し、各地域の配分対象基準の平準化や適正配分を実施いたしました。なお、篤志寄付についても実施いたしました。

1	歳末たすけあい募金戸別募金配分内容	
(1)	配分額	4,990,000円(昨年度5,048,150円)
(2)	配分件数	772件(昨年度807件)
(3)	歳末たすけあい配分委員会担当者会議期日	10月1日

- (4) 歳末たすけあい配分委員会
 ア 日程 12月8日から10日まで
 イ 開催回数 13地域毎に開催
- (5) 歳末たすけあい配分委員会委員
 地域社会福祉協議会、市民生委員・児童委員、町内会、市福祉推進連絡会、市連合婦人会、小学校、中学校、市立公民館他
- 2 歳末たすけあい募金篤志寄付配分内容
- (1) 配分先等
 ア NPO法人ふれあい天童 70,000円
 イ 天童市社会福祉協議会 162,020円

(3) 地域福祉活動推進プロジェクト（テーマ型募金）への協力

県共同募金会が「テーマ型募金」公開審査会を開催しましたが、市関連の申請団体がありませんでした。

- 1 「テーマ型募金」公開審査会期日 8月1日
 2 参加申請団体 2団体（県全体）

4 天童市地域包括支援センター中央の運営

(1) 総合相談支援事業

ア 総合相談・支援体制の充実

高齢者本人や家族等の相談内容に合わせ、関係機関との連携を図り、ワンストップサービスを意識した相談支援に努めました。

※相談件数は、延件数です。

- 1 相談件数 1,689件（昨年度1,621件）
- (1) 介護保険関係、ケアマネ紹介及び申請代行 575件（昨年度643件）
 (2) 医療との連携及び退院支援について 166件（昨年度123件）
 (3) 困難事例（ア～ク） 305件（昨年度433件）
- ア 認知症高齢者世帯 25件（昨年度90件）
 イ 精神・知的・身体障がい者等家族世帯 51件（昨年度131件）
 ウ 経済的困難 42件（昨年度65件）
 エ 家族・親戚からの支援困難 102件（昨年度64件）
 オ 支援受入拒否 42件（昨年度46件）
 カ 地域からの孤立 28件（昨年度26件）
 キ 利用できる施設不足 4件（昨年度0件）
 ク 家族の介護力不足 11件（昨年度11件）
- (4) 虐待 19件（昨年度16件）
 (5) 虐待の可能性 51件（昨年度11件）
 (6) 成年後見制度の活用、財産及び遺言関係 43件（昨年度42件）

- (7) 消費者被害 0件 (昨年度8件)
- (8) その他 530件 (昨年度345件)
- 2 受付形態別件数 1,049件 (昨年度1,176件)
 - (1) 電話 695件 (昨年739件)
 - (2) 訪問 132件 (昨年度220件)
 - (3) 来所 207件 (昨年度214件)
 - (4) 会議 15件 (昨年度 3件)

イ 在宅介護支援センターとの連携

地域の相談窓口の一つである在宅介護支援センターと連携しながら、情報共有及び同行訪問等により、地域の高齢者世帯に対して相談支援を行いました。

- 1 市在宅介護支援センター連絡会
 - (1) 開催回数 11回 (昨年度10回)
 - (2) 参加者 保険給付課、包括支援センター (中央・めいこうえん)、在宅介護支援センター (清幸園・ラ・フォーレ天童・あこがれ)

ウ 地域におけるネットワークの構築

地域社会福祉協議会の研修会及び民生委員・児童委員定例会への参加等、地域における関係者との連携強化を図り、地域の高齢者の見守り活動に係る意識啓発に努めました。

- 1 グループホーム等運営推進会議 (4ヶ所 2ヶ月1回) の参加
- 2 地域密着型特別養護老人ホーム運営推進会議 (3ヶ所 2ヶ月1回) の参加

エ 地域包括支援センターニュース発行の充実

消費者被害の防止、地域の福祉力向上を目的に、市民生委員・児童委員、市福祉推進員、関係機関 (行政、交番・駐在所、医療機関)、公共機関 (行政窓口、公民館等) 及び介護サービス事業所等に配布を行い広報活動に努めました。

- 1 天童市地域包括支援センターニュース
 - (1) 配付先 市民生委員・児童委員、市福祉推進員、自治会長、関係機関等約700部
 - (2) 掲載内容
 - ア 42号 (7月発行)
フレイル予防、薬との付き合い方、食中毒予防、消費生活センター、災害への備え
 - イ 43号 (11月発行)
生活習慣改善、こころの健康、社会参加の呼掛け、消費者被害情報、かくれ脱水予防
 - ウ 44号 (3月発行)
耳の健康、受診・検診のすすめ、高血圧予防、消費者トラブル情報

オ 地域支援事業申請に係わる支援及び調査等の代行業務

在宅介護や住み慣れた地域での高齢者の生活を支えることを目的に、福祉サービスの相談や申請代行、利用者調査、不在時の安否確認等を行いました。

- | |
|---------------|
| 1 乳酸飲料サービス事業 |
| 2 見守り配食事業 |
| 3 紙おむつ支給事業 |
| 4 軽度生活援助事業 |
| 5 緊急通報体制等整備事業 |

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、包括的・継続的なケア体制を実施するため、医療機関を含めた関係機関との連携体制を構築し、地域の介護支援専門員、介護サービス事業者等の連携及び質の向上のための支援を行いました。

ア 地域ケア会議の開催

本人や関係者とともに個別の検討を中心としたケア会議や自立支援を目的とした専門職による自立支援型地域ケア会議を開催しました。

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1 地域ケア会議の開催回数 | 13回（昨年度9回） |
| 2 自立支援型地域ケア会議（市主催）の開催回数 | 17回（昨年度14回） |

イ 主任介護支援専門員会議の開催

市内の居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員の資質向上と活動の支援を目的に、学習会や市介護支援専門員連絡会の運営についての検討を中心に会議を開催しました。

- | | |
|---------------|--------------------------|
| 1 主任介護支援専門員会議 | 2回開催（年間4回開催予定） |
| (1) 1月18日 | |
| ア 内容 | 事例検討会 |
| イ 参加者 | 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター 12名 |
| (2) 3月15日 | |
| ア 内容 | ケアプラン点検の視点について |
| イ 参加者 | 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター 22名 |

ウ 介護支援専門員連絡会及び介護サービス事業所連絡会の開催

主任介護支援専門員会議の検討内容を踏まえ、介護支援専門員連絡会を開催しました。

- | | |
|--------------|--------------------------|
| 1 介護支援専門員連絡会 | 3回開催（年間5回開催予定） |
| (1) 7月26日 | |
| ア 内容 | オンライン研修 |
| イ 参加者 | 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター 37名 |
| (2) 10月15日 | |

- ア 内容 ケアプラン作成における一連の流れについて
 - イ 参加者 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター 38名
- (3) 2月16日
- ア 内容 事例検討会
 - イ 参加者 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター 42名

エ 医療と介護の連携

医療と介護の連携強化を目的に、市と天童市東村山郡医師会との合同研修会を開催しました。また、在宅医療を希望する方の相談窓口として、天童市東村山郡医師会と連携を行いました。

- 1 天童市東村山郡医師会及び市地域包括支援センター合同研修会
 - (1) 期日 11月17日
 - (2) 内容
 - ア 報告 在宅医療・介護連携室「エール」の活動状況について
 - イ 講演 「看とりの時期を考える」
講師 山形在宅ホスピス医師 赤城 康司先生
 - (3) 参加者 99名
 - ア 介護保険事業所 59名
 - イ 医師会 12名・歯科医師会 4名・薬剤師会 4名・事務局 3名
 - ウ 天童市 8名 中山町 4名
 - エ 地域包括支援センター 5名
- 2 在宅医療・介護連携室「エール」との連携
 - 件数 0件（昨年度1件）
 - ア 医療 0件（昨年度0件）
 - イ 歯科 0件（昨年度1件）

オ 地域包括支援センター間の連絡調整

市地域包括支援センター間の活動報告や困難事例等の情報共有を行い、差異のない支援ができるように努めました。

- 1 市地域包括支援センター合同ミーティング
 - (1) 開催回数 11回
 - (2) 参加者 保険給付課、地域包括支援センター（中央・めいこうえん）

(3) 権利擁護事業

高齢者が様々な困難を抱えても、住み慣れた地域で尊厳のある生活を維持し、安心して暮らすことができるよう、市や近隣住民、市民生委員・児童委員、介護支援専門員等の連携を図り、専門的・継続的な支援を行いました。

ア 消費者被害の防止対策の推進

- 1 天童市地域包括支援センターニュースによる啓発活動（年3回）
- 2 市消費生活センターとの連携（随時）

イ 成年後見制度・福祉サービス利用援助事業の周知及び利用支援

寄せられた相談内容を精査し、対象となる高齢者の判断能力に応じた支援に努めました。精神や知的、認知症等の家族、身寄りのいない一人暮らしの方の相談対応を行いました。

1 成年後見制度申立支援件数 2件（昨年度3件）

ウ 虐待通報への対応

虐待の疑いのある相談内容を行政担当者に連絡するとともに、対応について協議をし、一時的な分離などの緊急対応を行いました。また、虐待等の通報の受付や内容の確認、実態把握の迅速化、養護者の支援のため他機関との連携を行いました。

1 虐待通報件数 延19件（昨年度延16件）

(4) 認知症施策の推進

市の委託を受けた認知症地域支援推進員が、権利侵害を受けやすい認知症高齢者対策として、認知症についての住民理解の促進に努めました。また、医療機関や地域の支援機関と連携を図り、認知症の人が住み慣れた環境で安心して暮らし続けることができるよう支援しました。

ア 認知症サポーター養成講座

認知症の方が住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に対する意識啓発に努めました。

1 認知症サポーター養成講座 4回 339名

(1) 6月4日

ア 場所 警察学校

イ 対象 初任科（短期課程・長期課程）

ウ 参加者 75名

(2) 7月14日

ア 場所 県立天童高等学校

イ 対象 県立天童高等学校3年生生徒・教諭

ウ 参加者 162名

(3) 11月18日

ア 場所 市総合福祉センター

イ 対象 天童東村山地区薬剤師会

ウ 参加者 17名

(4) 12月1日

ア 場所 市立第二中学校

イ 対象 市立第二中学校2年生生徒・教諭

ウ 参加者 85名

イ 認知症地域支援推進員活動の充実

市及び市地域包括支援センターめいこうえんに配置されている認知症地域支援推進員と定期的に会議を開催し、認知症の方が安心して過ごせる地域づくりのため、認知症ケア

パス改訂の検討を行いました。

1 認知症地域支援推進員会議参加 8回（昨年度3回）

ウ 認知症初期集中支援チームとの連携

認知症初期集中支援チーム会議に参加し、認知症高齢者が適切な医療や介護サービス利用につながるよう、検討及び支援を行いました。

1 ホオジロチーム員会議参加 3回（昨年度9回）

エ 認知症カフェの運営協力

認知症に係るすべての方を対象に認知症の不安や相談等を気軽にできる場及び情報交換の場として、市が月2回開催している「あったかカフェてんどう」への参加・運営協力を努めました。

オ 認知症事前登録申請代行

認知症等により、徘徊、または徘徊するおそれのある高齢者及びその家族を支援することを目的とした認知症事前登録事業への協力支援及び広報活動に努めました。

1 市地域包括支援センター中央エリア登録者数

(1) 有効登録数 53名（昨年度55名）

(2) 新規登録数 15名（昨年度14名）

(5) 介護予防・日常生活支援総合事業

65歳以上の方々を対象に、その置かれている環境や心身の状況に応じて、必要性に合わせた多様なサービスが提供されるように努めました。

ア 介護予防ケアマネジメント

要支援に認定された方及び基本チェックリストで総合事業対象者に判定された方を対象として自立支援を目的に、適切なサービスが提供されるようケアマネジメント（ケアプラン作成）を行いました。

1 介護予防ケアマネジメントA 2,020件（昨年度2,004件）

(1) 策定機関

ア 本会 1,684件（昨年度1,657件）

イ 委託先 336件（昨年度420件）

(2) 対象サービス

ア 訪問型A・通所型A（独自型） 1,839件（昨年度1,849件）

イ 通所型C（コソコソ運動教室） 70件（昨年度73件）

2 介護予防ケアマネジメントB 111件（昨年度85件）

(1) 策定機関

ア 本会 104件（昨年度85件）

イ 委託先 7件（昨年度0件）

(2) 対象サービス

ア あっばれ元気教室 85件（昨年度63件）

イ ショッピングリハビリ 26件（昨年度22件）

イ さわやか健康教室

一般市民及び高齢者の介護予防を意識した講座内容を企画し、さわやか健康教室を開催しました。

- | |
|---------------------------------|
| 1 一般介護予防事業（さわやか健康教室） |
| (1) 開催数 6回（昨年度2回） |
| (2) 参加者 185名（昨年度51名） |
| (3) 開催内容 |
| ア リベンジアロハみんなでフラしようよ！（9月22日・21名） |
| イ 食が人を良くする（10月12日・26名） |
| ウ ヨガでリラックス（11月10日・32名） |
| エ 健美操でリフレッシュ（12月6日・48名） |
| オ 口からはじめる健康習慣（1月24日・30名） |
| カ 自分の身体は自分でコントロール！（2月22日・28名） |

(6) 指定介護予防支援事業

要支援状態であっても、その悪化をできる限り防ぐことを目的に、より効果的なサービスの利用のためのケアプラン作成を行いました。

ア 給付管理の適正化

要支援1・2の認定を受けた方や家族と相談しながら、自立に向けた目標を設定し、適切な介護予防プランの作成・評価に努めました。

イ 業務委託環境の整備

要支援1・2の認定を受けた方の心身の状況を確認し、要支援から要介護状態へ移行する可能性の高い方は、継続性の観点から居宅介護支援事業所へ委託を行い、適正な予防プラン作成の支援に努めました。

- | |
|----------------------------------|
| 1 予防プランに伴う請求件数 1,695件（昨年度1,572件） |
| (1) 本会 1,175件（昨年度998件） |
| (2) 委託 520件（昨年度574件） |

(7) 在宅高齢者訪問指導事業(すこやか訪問)

市の委託を受けて、介護保険の認定を受けていない75歳以上の単身高齢者世帯を対象に生活習慣予防や閉じこもり予防、寝たきり予防等について、訪問等により健康状態や生活の様子などを確認し、市の高齢者生活支援事業等の紹介を行いました。

- | |
|------------------|
| 1 すこやか訪問対象者数 50名 |
|------------------|

(8) 実習生の受入れ

将来、医療・福祉分野で活躍しようとする学生（山形大学医学部看護学科実習生・県立保健医療大学保健医療学部看護学科実習生）の人材育成や地域包括支援センター

業務の理解促進を目的に実習受入を予定しましたが、新型コロナウイルス感染症のため中止となりました。

5 介護サービス事業所の運営

(1) 天童市居宅介護支援事業所の運営

ア 介護保険制度に基づく指定居宅介護支援事業の実施

自立支援や日常生活機能の維持向上を図る事で、利用者の望む生活が継続できるよう、研修会や事例検討会、定期会議等においてケアマネジメントの質の向上に努めました。法令遵守に努め、適切な人員配置やケアプラン作成数等の要件を満たし特定事業所の指定維持を図りました。

- | | | | |
|-----|-------------|--------|-------------|
| 1 | 作成件数 | 1,081件 | (昨年度1,191件) |
| (1) | 居宅介護支援 | 976件 | (昨年度1,077件) |
| (2) | 予防介護支援・総合事業 | 105件 | (昨年度114件) |

イ 介護保険に関する各機関との連絡調整及び手続代行

病院や施設から在宅生活への円滑な移行を目指し、利用者の状況に応じた環境整備や手続き等により連携を図りました。また、利用者へのより良い支援のため、介護サービスのみならず多様なサービスも含め、関係機関と連絡調整を行いました。

- | | | |
|---|-----------|------------|
| 1 | 事業所内会議の実施 | 週1回 |
| 2 | 打合わせ | 全日 |
| 3 | 研修会への参加 | 11回(昨年度6回) |

ウ 要介護認定調査事業

保険者から調査依頼を受けた利用者に対し、生活及び心身の状況が正確に反映できる認定調査に努めました。

- | | | | |
|---|----|-----|----------|
| 1 | 市内 | 62件 | (昨年度59件) |
| 2 | 市外 | 3件 | (昨年度1件) |

エ 他法人の居宅介護支援事業者との共同事例検討会及び研修会の開催

他法人が運営する居宅介護支援事業者と共同で研修会等を開催して制度やケアマネジメントの理解を深め、介護支援専門員としての資質向上に努めました。

- | | | |
|---|------|-----------|
| 1 | 3回開催 | (昨年度3回開催) |
|---|------|-----------|

オ 実習生の受入れ

介護支援専門員実務研修実習受入の協力事業所として登録していますが、今年度は該当者がいませんでした。

- | | | |
|---|-----|-------|
| 1 | 実習生 | 受入れなし |
|---|-----|-------|

(2) 天童市訪問介護サービス事業所の運営

ア 介護保険制度に基づく訪問介護事業

居宅サービス計画に基づき、利用者毎の目標に近づけるようなサービス提供を目指しました。月1回、全員参加の会議を行い、利用者の情報を共有すると共に介護サービスの質の向上を図り、特定事業所の指定維持に努めました。

1	利用者数	625件	(昨年度597件)
(1)	要支援・総合事業	343件	(昨年度282件)
(2)	要介護	282件	(昨年度315件)

イ 障害者総合支援法に基づく居宅介護及び重度訪問介護事業、同行援護事業

障がいを持つ方が地域で可能な限り自立した生活を続けられるよう、利用者毎のニーズに添った居宅介護計画の作成とサービス提供を行いました。特定事業所の指定の維持を図るために、介護保険同様月1回の会議を行い、サービスの質の向上に努めました。

1	利用者数	317件	(昨年度372件)
2	実契約数	35件	(昨年度47件)

ウ 地域支援事業に基づく移動支援事業の実施

天童市からの委託事業として、障がいを持つ方が地域活動や社会参加のため安心して屋外移動ができるよう外出援助を行いました。

1	利用者数	27件	(昨年度8件)
2	実契約数	5件	(昨年度4件)

エ 多胎児世帯ヘルパー派遣事業の実施

天童市からの委託事業であるエンゼルサポーター派遣事業の名称が、令和3年度から変更になりました。支援内容等の変更はなく、双子以上を養育している保護者が、安心して子育てができるよう支援を行いました。

1	利用者数	12件	(昨年度6件)
2	実契約数	2件	(昨年度1件)

オ まごころ支援事業(自主事業)の実施

介護保険や障がい福祉サービス事業等が何らかの理由で受けられない場合に、本会の自主事業を利用することで、安心して在宅生活が続けられる支援に努めました。

1	利用者数	33件	(昨年度28件)
2	実契約数	7件	(昨年度8件)

カ 養育支援訪問事業の実施

天童市からの委託事業として、育児に不安がある保護者に対して、安心して養育できるよう育児や家事援助等の支援を行いました。

- | | | | |
|---|------|----|----------|
| 1 | 利用者数 | 4件 | (昨年度11件) |
| 2 | 実契約数 | 1件 | (昨年度2件) |

キ 実習生・研修生の受入れ

福祉人材育成を目的に将来福祉分野で活躍しようとする学生を中心に、介護の専門知識と介護技術の指導に努めました。

- | | | | |
|-----|------------|-----|----------|
| 1 | 県立天童高等学校 | | |
| (1) | 前期実習生(3年生) | 21名 | (昨年度0名) |
| (2) | 後期実習生(2年生) | 16名 | (昨年度21名) |

ク 天童市内訪問介護サービス事業所情報交換会の開催

天童市内の訪問介護サービス事業所全体で在宅介護サービスの充実を図る事を目的に開催し、訪問介護の現状や課題について意見交換を行い情報の共有を図りました。

- | | | |
|---|------|---------|
| 1 | 1回開催 | (昨年度1回) |
|---|------|---------|

ケ 運営会議の開催

訪問介護事業の適正な運営継続に向け、本会及び全体の実情を踏まえ今後の運営会議や事業の方向性について検討しました。

- | | | |
|---|------|---------|
| 1 | 1回開催 | (昨年度4回) |
|---|------|---------|

6 天童市総合福祉センターの管理・経営

(1) 施設等の貸出

ア 福祉関連の事業、団体を優先にした貸出実施

福祉関係団体については2ヶ月前、福祉関係以外の団体については1ヶ月前から予約を開始し、福祉活動への優先的な開放を行うとともに、より多くの市民に安全に安心して、利用いただけるよう効率的な貸出に努めました。また、5月から10月まで新型コロナウイルスワクチン接種会場として貸出を行いました。

さらに、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、館内手すりや貸出物品等の消毒及び消毒液等の設置、三密を避けるために利用人数を制限する等、利用者へも感染予防策の周知徹底を行いました。

- | | | | |
|-----|------------|--------------------|--------------|
| 1 | 利用団体数(延件数) | 2,910団体 | (昨年度2,406団体) |
| (1) | 市関係 | 479団体 | (昨年度368団体) |
| | | (内新型コロナウイルスワクチン関連) | 242団体) |
| (2) | 福祉関係 | 1,885団体 | (昨年度1,785団体) |
| (3) | その他 | 178団体 | (昨年度253団体) |
| 2 | 利用人数(延人数) | 42,677人 | (昨年度21,308人) |
| (1) | 市関係 | 27,853人 | (昨年度3,502人) |
| | | (内新型コロナウイルスワクチン関連) | 25,392人) |
| (2) | 福祉関係 | 12,759人 | (昨年度13,551人) |

(3) その他 2, 065人 (昨年度4, 255人)

※天童市総合福祉センターの利用状況の詳細は別表1に記載

イ 抽選による受付実施

毎月の予約開始日に予約抽選会を開催し、平等な受付に努めました。

1 抽選日

毎月1日(1日が土・日・祝日の場合は、次の平日となり、1月のみ5日とし、1月5日が土・日・祝日の場合は、次の平日)の午前9時

2 抽選会参加団体 約15団体

ウ 備品貸出事業の実施

無料で備品の貸出を行い、地域福祉や地域活動の振興等に努めました。

1 車イス 貸出回数 30回 (昨年度11回)

2 輪投げ 貸出回数 4回 (昨年度3回)

3 外用いす及びテーブル 貸出回数 5回 (昨年度2回)

4 グラウンドゴルフ用具 貸出回数 6回 (昨年度2回)

(2) 良好な環境整備

ア 日常点検及び定期的なメンテナンス等による施設の良好な環境整備

毎朝の総合的な施設・設備の点検や月1回の定期清掃、各設備等の定期点検を行い、故障箇所等の早期発見や修繕等の迅速な対応に努めました。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入口にサーモカメラ、換気用ドアストッパーを設置する等「新しい生活様式」を実践するための環境整備を行いました。

1 修繕等箇所

(1) 1階事務室、機能回復訓練室ドアストッパー取付

(2) 1階、2階事務室LED改修工事及び1階、2階誘導灯修繕

(3) 1階女子トイレ水栓及び洗面台排水管修繕、1階男子トイレ配管修繕

(4) 1階、2階男子トイレセンサー修繕

(5) 1階、3階ロビー冷暖房配管断熱材修繕

(6) 2階給湯器交換

(7) 2階調理室天井配管及び断熱材修繕

(8) 3階技能習得室ブラインド交換

(9) 3階学習室、視聴覚室マイク更新及びHDMIケーブル工事

(10) 火災受信機更新工事、消火ポンプ制御盤修繕

(11) 機械室冷温水管水漏れ修繕、冷温水発生装置モーター交換

(12) 防災無線機点検、交換

(13) 屋外升網修理

(14) 屋上太陽光パネル修繕

2 定期清掃

(1) 内容 全館のワックス塗布

(2) 回数 月1回

3 新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底

(1) 利用者への「新しい生活様式」の周知、利用者名簿の提出

(2) 定期的な換気、マイクなど使用機器及び館内手すり等の消毒

イ 消防総合訓練や発電機の点検等による避難所開設及び災害発生時への対応準備
消火訓練等を行い防火体制の強化に努めました。

1 総合消防訓練等

(1) 4月19日

(2) 10月18日

2 防火体制 防火対象物点検報告特例認定（令和3年7月28日から3年間）

3 発電機（2台）月1回点検、バッテリー交換

ウ 効果的な経費の削減

暖房・冷房のこまめな調整や安全確保をした上での不用な照明の消灯、使用していないコピー機等の事務用機器の電源を切るなど、経費削減に取り組みました。

(3) 同好クラブ事業の内容充実

60歳以上の市民が趣味活動を通して、健康維持や仲間づくりを進められるよう同好クラブの運営を行いました。

ア 囲碁クラブ

1 開催回数 延97回

2 参加者数 延2,100名

イ コスモスダンスクラブ(社交ダンス)

1 開催回数 延5回

2 参加者数 延36名

ウ 手芸クラブ

1 開催回数 延12回

2 参加者数 延126名

エ 俳句クラブ

1 開催回数 延11回

2 参加者数 延78名

オ 将棋クラブ

1 開催回数 延95回

2 参加者数 延615名

カ 民踊クラブ

- | | | |
|---|------|-------|
| 1 | 開催回数 | 延17回 |
| 2 | 参加者数 | 延105名 |

7 法人組織の管理・運営等

(1) 法人組織の管理・運営

ア 理事会及び評議員会等の開催

定期的な理事会、評議員会を実施しながら、経営組織のガバナンスとコンプライアンスの強化や事業運営の透明性の向上、財務規律の強化等に努めました。

また、評議員を選任するための組織である評議員選任・解任委員会を開催し、法人組織の適正な管理、運営に努めました。

- | | | |
|-----|-------------|-----------|
| 1 | 理事会 | 4回（昨年度3回） |
| (1) | 6月8日 | |
| (2) | 6月24日 | |
| (3) | 9月22日 | |
| (4) | 3月17日 | |
| 2 | 評議員会 | 3回（昨年度3回） |
| (1) | 6月24日 | |
| (2) | 9月30日 | |
| (3) | 3月25日 | |
| 3 | 評議員選任・解任委員会 | 1回（昨年度1回） |
| (1) | 6月15日 | |
| 4 | 会長・副会長会議 | 3回（昨年度2回） |
| (1) | 5月27日 | |
| (2) | 9月13日 | |
| (3) | 3月7日 | |

イ 監事による監査の実施

監事による業務執行及び財産の状況の監査により、適正な法人運営に努めました。

- | | | |
|---|------|-------|
| 1 | 決算監査 | 5月24日 |
|---|------|-------|

(2) 苦情解決の推進

苦情解決の推進のため第三者委員を委嘱し、組織体制の整備を図りながら、利用者の権利を擁護するとともに提供するサービスの向上に努めました。

- | | | |
|---|-------|-----------|
| 1 | 苦情の件数 | 0件（昨年度0件） |
|---|-------|-----------|

(3) 自主財源の確保

会員や社会福祉基金等の増強のため、広報チラシの市内全戸配布等を行い広報活動を推進しました。

1 会費

- (1) 世帯数 16,889世帯 (昨年度16,834世帯)
- (2) 会費額 11,822,300円 (昨年度11,783,600円)

2 社会福祉基金

- (1) 件数 1件 (昨年度1件)
- (2) 金額 10,000円 (昨年度10,000円)

3 共同募金

- (1) 共同募金配分金 4,959,549円 (昨年度5,119,948円)
- (2) 地域福祉活動配分金 162,020円 (昨年度121,857円)
- (3) 赤い羽根寄付金付き自動販売機販売手数料 10,946円
(昨年度7,679円)

(4) 地域における公益的な取組の推進

社会福祉法人の責務として、社会福祉法に定められている日常生活又は社会生活上の支援を必要とする方に対しての無料又は低額の料金で行う福祉サービスを積極的に提供しました。

- 1 たすけあい資金貸付事業 低所得世帯に対しての資金貸付 (無利子)
- 2 フードバンク・フードドライブ事業 ご寄付いただいた食品等を本会やNPO団体等を通じて生活困窮者、新型コロナウイルス感染症自宅療養者等へ提供
- 3 まごころ支援事業 介護保険等に該当しない方への訪問介護サービスの提供
- 4 法人後見事業 意思決定が困難な方の財産管理等を行い、権利を擁護する

(5) 職員の資質向上及び福利厚生

ア 定例会及び係長等会議の開催

定例会及び係長等会議等を開催し、各係での連携を密にしながら、職員間の連絡調整に努めました。

1 定例会

- (1) 参加者 6名 (会長及び局長、次長、主幹、各係長)
- (2) 回数 月1回開催

2 係長等会議

- (1) 参加者 9名 (局長及び次長、主幹、各係長他)
- (2) 回数 月1回開催

イ 各種研修会への参加及び開催

外部で開催されるオンラインを含めた研修会等への積極的な参加により、職員の資質向上に努めました。また、独自に研修会を開催し、専門的な知識や技能等を高めました。

- 1 内部研修会等 6回 161名 ※定期的に開催する(6)(7)を除く
(昨年度6回94名)
- (1) 消防訓練等
- ア 消火訓練
- (ア) 期日 4月19日
- (イ) 講師 天童市消防本部・浅野防災
- (ウ) 参加者 40名
- イ 消防総合防災訓練
- (ア) 期日 10月18日
- (イ) 講師 天童市消防本部
- (ウ) 参加者 38名
- (2) 介護サービス事業所運営会議
- ア 期日 10月13日
- イ 参加者9名
- (3) 介護サービス係研修会「天童市の社会資源等について」
- ア 期日 12月22日
- イ 講師 本会地域福祉係職員
- ウ 参加者 15名
- (4) 一般応急手当講習会
- ア 期日 2月14日・15・16日
- イ 内容 DVD視聴
(コロナ感染拡大により講師の消防職員による指導不可能となったため)
- ウ 参加者 50名
- (5) 福祉サービス利用援助事業生活支援員等研修会
「知的障がい、発達障がいに対する理解を深めよう」
- ア 期日 10月22日
- イ 講師 花笠ほ一ぶ隊
- ウ 参加者 9名
- (6) 居宅介護支援事業所会議
- ア 回数 53回(週1回)
- イ 参加者 各回3名
- (7) 訪問介護サービス事業所会議
- ア 回数 12回(月1回)
- イ 参加者 各回16名
- 2 外部研修会等 ※オンライン研修含む
- (1) 開催回数 209回(昨年度120回)
- (2) 参加職員 425名(昨年度268名)

ウ 安全衛生委員会の開催や健康診断等の助成

- 1 安全衛生委員会

- (1) 参加者 7名 (鞍掛彰秀産業医、局長、次長、各係長他)
- (2) 開催回数 6回
- 2 インフルエンザ予防接種費用の助成
- 3 健康診断の実施